

道路保全の 継承と進化

～維持管理の歴史と最新技術の融合～

2013年の道路法改正により、橋梁やトンネル等の道路構造物に対する定期点検が義務化されてから10余年。2024年度、全国の道路インフラは定期点検の「第3巡目」を実施しています。それに加え、2014年度より、高速道路において大規模更新・修繕事業が実施され、道路の維持管理の重要性は広く社会に浸透しました。

しかし、建設から半世紀を超える構造物の急増に加え、熟練技術者の不足や激甚化する自然災害など、インフラメンテナンスを取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、これまでに培われた知見や技術を「継承」しつつ、現在、点検、診断、補修、管理のあり方も、ドローンやロボット、非破壊検査、AIによる画像解析、デジタルツインといったDX技術は実用フェーズへと移行し、最新テクノロジーによる「進化」を取り入れることが急務となっています。

本講演会では、道路構造物の維持管理の歩みを振り返るとともに、持続可能な道路ネットワークに向けた維持管理の動向、技術開発、取り組みについて、有識者・学識者の皆様からご講演いただきます。

日時	2026 11/13 13:00-17:15 金	会場	虎ノ門ヒルズフォーラム(虎ノ門ヒルズ森タワー4階) ホールB
		開催	会場(200名) +オンライン配信

申し込み方法

 参加申込は当センターのHP
<https://tecmed.or.jp> (9月29日(火)開設)
にアクセスし、技術講演会参加申込フォームからお申込みください。

プログラム	
13:00~13:05 (5分)	開会挨拶
13:05~14:05 (60分)	「道路構造物の多面的・統合的なマネジメントに向けた取り組み」 七澤 利明 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 部長)
14:05~15:05 (60分)	「デジタルツインと AI による道路保全の継承と進化」 今井 龍一 (法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授)
(休憩 10分)	
15:15~16:15 (60分)	「首都高速道路の維持管理の取り組み」 神崎 正美 (首都高速道路株式会社 保全・交通部 点検・補修推進室 室長)
16:15~17:15 (60分)	「インフラ健康診断書から見えるインフラの現状と課題解決で考えるべきこと」 中村 光 (名古屋大学大学院 工学系研究科 土木工学専攻 構造・材料工学 教授)
17:15	閉会

申し込み・問い合わせ先

一般財団法人
首都高速道路技術センター

技術講演会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11
TEL: 03-3578-5769 FAX: 03-3578-5760 E-mail: info@tecmed.or.jp

<https://tecmed.or.jp>

首都高速道路技術センター

検索



本講演会は、土木学会認定CPDプログラムです。